

浦添市社会福祉協議会・福祉サービス課子ども支援係の紹介



浦添市障害児通所支援事業所「たんぼぼ」では、浦添市内の障がいや発達に心配のある未就学のお子さんが、母子通園で保育・療育を行い健やかな成長を支援しています。
問合せ先 TEL.875-1502 担当:池村、島尻

浦添市障害児放課後児童健全育成施設ひまわり学童クラブでは、浦添市内の障がいのある小学生を対象に放課後の健全育成と保護者の就労支援を目的に児童の基本的な生活習慣の習得や学校からの宿題等の学習支援等、日々の活動をととして心身の成長を支援しています。
問合せ先 TEL.874-5006 担当:久高、宮里



浦添市社会福祉協議会放課後等デイサービス事業所「遊友」では、障がいのある中学生、高校生に対し、日々の放課後等の様々な活動や療育をととして安心して安全な放課後の居場所づくりや家族の就労支援を行っています。
問合せ先 TEL.875-1503 担当:赤嶺、兼本

浦添市社会福祉協議会では、これらの3事業をととしてそれぞれのライフステージで、発達に心配のあるお子さんや障がいを有するお子さんの望ましい成長を支援します。また、ご家族や子育ての相談も行ってまいります。

★福祉・ボランティア団体紹介のコーナー

浦添市ボランティア・市民活動支援センターにはたくさんの福祉・ボランティア団体が登録して日々活動に励んでいます。このコーナーでは、そんな団体の中から毎月1団体をピックアップしてご紹介していきます。

今日は、**車いすダンスウィールの会**
のみなさんをご紹介します!



～ウィールの会のみなさんにお話しを聞きました!～

◆車いすダンスってなんですか?

社交ダンスの車いすバージョンと考えるとイメージしやすいかもしれません。社交ダンスと同じように、10ダンス(スタンダード5種、ラテン5種)あります。健常者と車いすで踊るコンビスタイル、車いす同士で踊るデュオスタイルの2種類あり、子どもから高齢者まで楽しめるダンスです。また、世界大会も開催されています。

◆どんな活動をしているの?

主に、高齢者施設や障がい者施設で車いすダンスを教えるボランティアも行っています。また、毎年嘉手納基地内で行われている「スペシャルオリンピック」でもダンスを披露しています。

◆ボランティア活動をしていて嬉しいこと

ダンスをととして、障がいのある方が笑顔になると嬉しいです。また、障がいがあってもダンスを踊れるということに感動する方もいらっしゃいました。

◆ボランティア活動をやってよかったなーと感じる時

これまでは腕があがらなかった方が、ダンスをはじめてからあがるようになったりするのを見たとき、一緒にやってよかったと思います。車いすダンスは普段使わない筋肉を使うのでリハビリ効果もあります。リハビリは「つらい、苦しい」というイメージがありますが、ダンスだと楽しみながらできます。

◆これから活動をやりたい方へのメッセージ

音楽を聞きながら身体を動かすことは素晴らしいことです。リハビリのつもりで楽しくやっていきましょう。友達も増えて、視野も広がりますよ。車いすの方、健常者の方、どなたでも大歓迎です。関心のある方は一度来てみませんか?みんなで楽しく踊りましょう!

<車いすダンスウィールの会>

【結成年】平成10年 【会員数】浦添・那覇 10名 八重山支部 20名
【活動日・場所】第2、4火曜日(サン・アビリティーズうらそえ)、毎週土曜日(繁多川公民館)
【お問い合わせ】車いすダンスウィールの会
講師/日本車いすダンススポーツ連盟沖縄県支部長 久保志津子 電話:098-866-5671 <お気軽にお問い合わせください!>

次月号もお楽しみに～★